

2011年2月19日(土)公開 〈ドキュメンタリー映画〉 【ミツバチの羽音と地球の回転】

鎌仲ひとみ監督インタビュー取材のお願い&試写会のご案内

全国600ヶ所以上で上映され10万人以上を動員し、大きな社会的反響を呼んだドキュメンタリー映画『六ヶ所村ラブソディー』（06年）より4年——。試運転が始まった六ヶ所の核燃料再処理工場から、原発建設の問題に現在直面している山口県祝島に舞台を移し、監督・鎌仲ひとみが持続可能な未来を求めて、新作『ミツバチの羽音と地球の回転』をついに完成させました。前作に続き各地で上映の要望が殺到している本作は、2011年2月19日(土)より渋谷・ユースペースでの劇場公開が決定しました！

つきましては、鎌仲ひとみ監督へのインタビュー取材を受付中です。

10月に名古屋にて生物多様性条約第10回集約国会議（COP10）が日本で開催され、映画のテーマでもある、「環境」「エネルギー」「生物多様性」「食の安全」への関心が高まっています。『ヒバクシャ―世界の終わりに』（03年）、『六ヶ所村ラブソディー』（06年）、そして『ミツバチの羽音と地球の回転』の三部作を通して、「環境」と「エネルギー」の視点から、核の問題を追い続けてきた鎌仲ひとみ監督へのインタビュー取材を、この機会に是非ご検討の程よろしくお願い致します。

生存権の一つとして、何によって作られた電気を使うか、
核なのか、風なのか、太陽の光なのか、選ぶ権利があるはず。
坂本龍一（音楽家）

【作品概要】

地球温暖化は進行している、未来のエネルギーをどうするのか？

—これは祝島とスウェーデンでエネルギーの自立に取り組む人々の物語

本作では、日本のエネルギーの最前線、山口県・上関原発計画に向き合う祝島の人々と、スウェーデンで「持続可能な社会」を構築する人々の取り組みの両方を描き出している。

いかにして自分たちのエネルギーの未来を切り開くのか。そして環境保護と経済は両立できるのか。現場からの問いかけは私たちに大きな選択を迫ってくる。映画は、この大きな問いへの鮮やかな答えを出している。

『ミツバチの羽音と地球の回転』公式サイト：<http://888earth.net/>

監督：鎌仲ひとみ プロデューサー：小泉修吉 音楽：Shing02 制作・配給：グループ現代 <2010年/カラー/デジタル/135分>

取材予定：12月～2月

（日時未定。調整させていただきます）

インタビュー受付：鎌仲ひとみ監督

（出演者など、他にご要望があればご相談下さい）

【鎌仲ひとみプロフィール】映像作家。環境、エネルギーなどマスメディアが扱わないテーマを追求し、映画を市民に自主上映してもらう方法で作品を届けている。

好評につき、追加試写会が決定！

日時：2/6（日）16：00～

会場：TCC 試写室

JR新橋駅銀座口/地下鉄銀座線
中央区銀座8丁目3番先 高速道路ビル102号
TEL：03-3571-6378

※監督トーク付き

【お問い合わせ】

※本状をご持参いただければご入場いただけます。

株式会社グループ現代 宣伝担当：吉川（080-5095-3500）、小林、安田

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-11-13 トラスト新宿ビル4F

TEL：03-3341-2863 FAX：03-3341-2874 メールアドレス：mitsubachi@g-gendai.co.jp